



2011年6月 第9巻第6号

かく語りき—聖人の言葉

「神はまさにあなたの身内です。その関係は永遠です。彼は皆の身内です。人は彼に対する思いの強さに応じて彼を悟ります。」

(ホーリー・マザー シュリー・サーラダー・デーヴィー)

「花に香りがあるように、鏡に物が映るように、あなたの主はあなたと共にいるのだ。

なぜ彼を外に探すのか。」

(グル・ナナク)

今月の目次

- ・かく語りき—聖人の言葉
- ・今月の予定
- ・スワームィー・ヴィヴェーカーナンダ第149回生誕記念祝賀会、東京にて開催
- ・上野恩賜公園野外ステージにて平和の祈り Universal Prayer Meeting
(アート オブ リビング日本支部主催)
- ・スワームィー、ヨーガスクール・カイラス 仙台講習会にて講演

- ・東日本大震災 協会の支援活動報告 2011年6月
- ・スワームィー、第3回大分ヨーガ・リトリートに参加
- ・2011年屋外リトリート(霊性修養会)のお知らせ
- ・忘れられない物語
- ・今月の思想

今月の予定

- ・生誕日

Vishuddha Siddhanta 暦では、2011年6月に生誕日はありません。

- ・行事

逗子例会

7月17日(日)10:30～16:30 逗子本館

講話:特別ゲスト 東京外国語大学名誉教授 奈良毅先生 『無限の喜び』

*午前中の講話のみで、昼食後自由解散になります。

2011年屋外リトリート(霊性修養会)

2011年7月29日(金)～7月31日(日)

東京・御嶽山

詳細は、本ニュースレターの「2011年屋外リトリート(霊性修養会)のお知らせ」をご参照ください。

皆様のご参加をお待ちしております。

例会スワーム・ヴィヴェーカーナンダ第 149 回生誕記念祝賀会、東京にて開催

2011年5月22日、日本ヴェーダーンタ協会は東京・インド大使館のオーデトリウムにて、スワーム・ヴィヴェーカーナンダの第149回生誕記念祝賀会を開催しました。この美しいオーデトリウムでスワームの聖誕祭を開催するのは2回目でした。祝賀会の実行委員会は、3月に発生した東日本大震災により多くの方々が被災されたことを鑑み、今年の祝賀会をこれまでよりも厳粛なトーンで短時間のイベントとすることにしました。

午後2時、司会の松井ケティ教授がスワーム・メダサーナンダを紹介しました。スワームはヴェーダの祈りを捧げ、続いて3月の震災による犠牲者の方々へ祈りを捧げました。そして、インド大使館首席公使 サンジェイ・クマール・パンダ氏がスワーム・ヴィヴェーカーナンダに献花されました。

次にスワームが、インドのラーマクリシュナ・マト・アンド・ラーマクリシュナ・ミッショ

ンのプレジデント スワーム・アートマスターナンダジからの祝辞を読み上げました。

「来る5月22日(日)、日本ヴェーダーンタ協会が、スワーム・ヴィヴェーカーナンダ師の第149回目の生誕を祝う行事を催されることを知り、大変嬉しく思います。

懐疑論、不確実性、恐怖に満ちた現代において、スワーム・ヴィヴェーカーナンダ師によって説かれた靈魂の神聖さに関する教えは、今や人々の心に永遠の平和と喜びをもたらしつつあります。

願わくは、人間に勇気を与えるヴェーダーンタ哲学の教えが、日本のすべての人々に希望と救いをもたらしますように。

このお目出度い機会にあたり、私は日本ヴェーダーンタ協会の関係者の皆様に、私の心からなる祝福をお送りいたします。」

パンダ主席公使ご夫妻が協会の新しいCD『シュリー・ラーマクリシュナ・アーラティ』と雑誌『不滅の言葉 2011年3号(5月)特別号』の発刊を披露され、パンダ主席公使から歓迎のスピーチをいただきました。(スピーチは次号以降のニュースレターに掲載されます。)

オーデトリウムの照明を落とし、スワームが誘導瞑想を行いました。この誘導瞑

想は、毎年行われるこの祝賀会で聴衆の評判が最もよく、また CDBaby.com でダウンロードにより購入できる協会の音楽 CD の中でもダウンロード回数が非常に多く人気があります。

短時間のイベントとするという決定に合わせて、スピーチはお二人とし、素晴らしい文化プログラムはキャンセルとしました。今年の祝賀会のテーマは、『現代社会において積極的に生きるために必要な手掛かりと霊性の果たすべき役割』で、東京外国語大学名誉教授 奈良毅先生、コンパス社社長 上野りえ氏の 2 名にお話をいただきました。続いて Q&A セッションを行い、J. S. チャンドラニ氏に謝辞を述べていただきました。



泉田シャンティ氏のリードで、ヨーガスクール・カイラスのメンバーを主体とするコーラスグループが、『ヴィヴェーカーナンダありがとう』をステージで歌いました。(この歌は、日本語信仰歌の CD『心に咲く花』に収録されています。)

司会の松井教授が閉会の言葉を述べられ、祝賀会は成功のうちに幕を閉じました。オーデトリウム前のロビーで来場者全員に軽食が振る舞われました。また、ロビーには協会のブックストアが特設され、大盛

況でした。

上野恩賜公園野外ステージにて平和の祈り Universal Prayer Meeting



2011 年 4 月 30 日(土)、アート オブ リビング ジャパン(NGO Art of Living 日本支部、本部インド)は上野恩賜公園で Universal Prayer Meeting を開催し、人や国、環境、そして 3 月 11 日の震災で被災された同胞の方々に愛と平和の祈りを捧げました。

当日の参加者は 50 名を超え、子供からお年寄り、このイベントを心待ちにしていた人やたまたま公園を散歩していた人など、様々な世代や立場の人が集まりました。登壇者はそれぞれの宗教、宗派を代表するにふさわしい著名な方々で、暖かな日差し心地よい春の午後、美しい静けさが参加者へと広がり、平安と愛を誰もが感じることができました。

ゲストスピーカーは、浅草・長龍寺 黒川孝文和上、上智大学教授 シルル・ヴェリヤト神父、ラーマクリシュナ・ミッション 日本ヴェーダーンタ協会プレジデント スワミー・メダサーナンダに加え、アート

オブ リビング スワミー・サドヨジャーターがこの日のためにバンガロールから来日されました。



アート オブ リビング ジャパンのコーディネーター 金田卓也教授が、歓迎の辞を述べられました。

続いて、スワミー・メダサーナンダがバガヴァッド・ギーターの言葉を引用し、人生のはかなさと、内なる自己について考えること、奉仕やお世話をすることの重要性を話しました。



黒川和上は阿弥陀如来に祈りを捧げられ、震災後の活動についてお話しになりました。被災地には震災の犠牲者を弔う僧侶がいなかったため、東京で他の僧侶と共に弔いの儀式を行われたそうです。

ヴェリヤト神父は聖書の言葉を引用され、上智大学合唱部の皆さんが歌を披露されました。



スワミー・サドヨジャーターは、人生が無常であること、このような出来事をきっかけに人は自らを深く探索するようになることを話され、被災地の一日も早い復興のために皆で力を合わせようと言われました。スワミー・サドヨジャーターのリードで参加者は深い瞑想を行いました。

どのスピーチにも共通して、物質世界の無常さ、奉仕とお世話の重要性、普遍的愛のメッセージが込められていました。

イベント会場に設置された募金箱には、総額 11 万円の寄付金が寄せられました。この寄付金は津波の救済基金として利用されます。

最後にバジャンと賛歌を歌い、すべての人に平和がもたらされるよう、また被災地の皆様が一日も早く普通の生活に戻るよう祈り、イベントは幕を閉じました。

スワミー、ヨーガスクール・カイラス 仙台講習会にて講演

2011年5月5日、マハラージは仙台の被災地を訪れました。カイルスの仙台講習会の特別ゲストとして、スワミーは「内なる平安」について講話をしました。参加者はヨーガのインストラクターも含め約30人でした。



マハラージは、被災地の状態をリサーチするため、江ノ島龍口寺在住の鈴木法拳氏のご紹介で、仙台在住の僧侶である黒須大仙師、三浦鍊浄師とともに、東日本大震災の今後必要な支援について話し合いました。



東日本大震災 協会の支援活動報告 2011年6月20日

6月20日、岩手県の救援物資物流拠点となっている岩手産業文化センターに、次

の支援物資を購入先の店舗から直送してもらいました。

洗濯洗剤 1kg×80箱
食器洗剤 400ml×150本
調理用手袋 2千組
合計 ¥61,980

皆様のご協力に心よりお礼を申し上げます。当協会の支援活動へのサポートについては、協会のホームページで詳細をご覧ください。

スワミー、第3回大分ヨーガ・リトリートに参加(神力正信氏、智子氏寄稿)



去る4月9日～10日の1泊2日、大分県湯布院の聖マリア修道院で、メダサーナンド・マハラージをお迎えして第3回大分ヨーガ・リトリートが開催されました。主催は大分・臼杵(うすき)在住のヨーガ指導者、じねんやす・ゆうこ御夫妻と神力でした。参加者は50名。昨年同様、若い参加者が目立つリトリートでした。

テーマは昨年が続いて「バガヴァッド・ギター」。3つのグナについての講話でし

た。人と人の性格の違いはなぜ？神様はどのように宇宙をお造りになったのか？人生の目的をどのようにかなえるのか？・・・について学びました。

早朝の瞑想・聖典朗読、午前・午後の講話、夕拝と誘導瞑想。じねんさん指導のヨーガアーサナ。桜の咲く道をマハラージと一緒に散歩しました。食事は修道院のシスターたちが心をこめて作って下さいました。夜のサットサングでは、熊本の正木千鶴子さん・ラビさん・オトさん御一家によるコンサートがあり、優しく心洗われる歌を皆で楽しみました。



講話と質疑応答の中で、マハラージから私たちは実践的な助言をたくさんいただきました。

2011 年屋外リトリート(霊性修養会)のお知らせ

このたび、東京・御嶽山にて恒例の屋外リトリート(霊性修養会)を行うこととなりました。スワミー・メダサーナンダ師のご指導のもと、瞑想、礼拝、賛歌、講義等を行います。忙しい日常生活を離れ、霊性の

修養を図るよい機会です。みなさまぜひご参加下さい！

日時:2011年7月29日(金)午後5:00から、7月31日(日)午後5:00まで

場所:宿坊 能保利(のぼり)昨年と同じ

東京都青梅市御岳山 95

TEL: 0428-78-8443 ウェブサ

イト: <http://www.mitake-nobori.com/>

スワミーの講話:『ポジティブな生き方』

ゲスト講演者:日本テーラワーダ仏教協会
スマナサーラ長老

『ヴィパッサナーの瞑想』

*講話のほとんどは日本語で行われます。

参加費(宿泊代、食事代込):

大人:1泊2日¥13,000、2泊3日¥25,000、
日帰り¥6,000

学生割引:小中高生 50%off

*お支払いは当日お願いします。

*本リトリートへのご寄付は歓迎します。

お申し込み:7月20日(水)までに、申込用紙に必要事項をお書きの上ファックスかメールでお申込下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。

申込連絡先:泉田(シャンティ) Tel:
090-5575-0971

Fax:045-893-2832

E-mail: shanti.k@r3.dion.ne.jp

忘れられない物語

愛ある行動

ある晩、一人の男性が私たちの家にやって来て言いました。「8 人子供がいる家族が、もう何日も食べていないんです。」私は食べ物を持って、その家族のところに行きました。やっと辿り着くと、幼い子供たちの顔が飢えのために変形しているのが見て取れました。悲しみの色も浮かばない顔、そこにはただ、飢えの深い痛みがあるだけでした。私は母親に米を渡しました。母親はそれを二つに分けると、半分を手にして出て行きました。戻ってきた時、私は彼女に尋ねました。「どこに行っていたの？」返ってきた答えは至極単純でした。「近所の人たちのところですよ。みんなもお腹がすいているから。」

私は彼女の行為に驚きませんでした。貧しい人々は心が広いですから。でも、近所の人々が飢えていることを彼女が知っていることには驚きました。私たちは普通、自分が苦しい時には自分のことで精一杯で他人を顧みる余裕がないものです。

(マザー・テレサ)

今月の思想

「能力が要求に追いつくことはない。」

(孔子)

発行：日本ヴェーダーンタ協会

249-0001 神奈川県逗子市久木 4-18-1

Tel: 046-873-0428

Fax: 046-873-0592

Website: <http://www.vedanta.jp>

Email: info@vedanta.jp